



魅力ある水辺空間の再生を目指して！

～水辺空間デザインの今まで、そして、これから～

参加
無料

2016年 **6月22日(水) 13:00～17:00** (受付12時～)

会場：星陵会館ホール(東京都千代田区永田町2-16-2)

対象：国・自治体の河川管理者、川に関心のある市民の方々、建設コンサルタント・ブロックメーカーの技術者
(会場の都合上、数に限りがございますので、誠に勝手ながら先着順とさせていただきます)

プログラム

13:00 開会 国立研究開発法人土木研究所理事 野口 宏一
13:05 来賓挨拶 国土交通省水管理・国土保全局河川環境課長 小俣 篤
13:10 趣旨説明 国立研究開発法人土木研究所 萱場 祐一

第一部 基調講演 13:20～14:10

「戦後の河川環境整備概史」

(株)プランニングネットワーク 顧問 岡田 一天



第二部 研究・事例発表 14:10～15:10

14:10～14:25 「水辺空間デザインの考え方」 国立研究開発法人土木研究所 鶴田 舞
14:25～14:40 「河川用護岸ブロックの改良と工夫」 (公社)全国土木コンクリートブロック協会 尾崎 正樹
14:40～14:55 「糸貫川における川づくり」 岐阜県 藤井 孝和
14:55～15:10 「一乗谷川における川づくり」 福井県 脇本 幹雄

15:10 休憩

第三部 パネルディスカッション 15:20～16:55

話題提供

「川で活用するハイブリッド型 グリーン・インフラへの期待と可能性」

国土交通省水管理・国土保全局河川環境課
河川環境保全調整官

堂園 俊多



「いい川のデザイン・事例」

(株)吉村伸一流域計画室 代表取締役

吉村 伸一



「白川・緑の区間のデザイン」

熊本大学大学院先端科学研究部
准教授

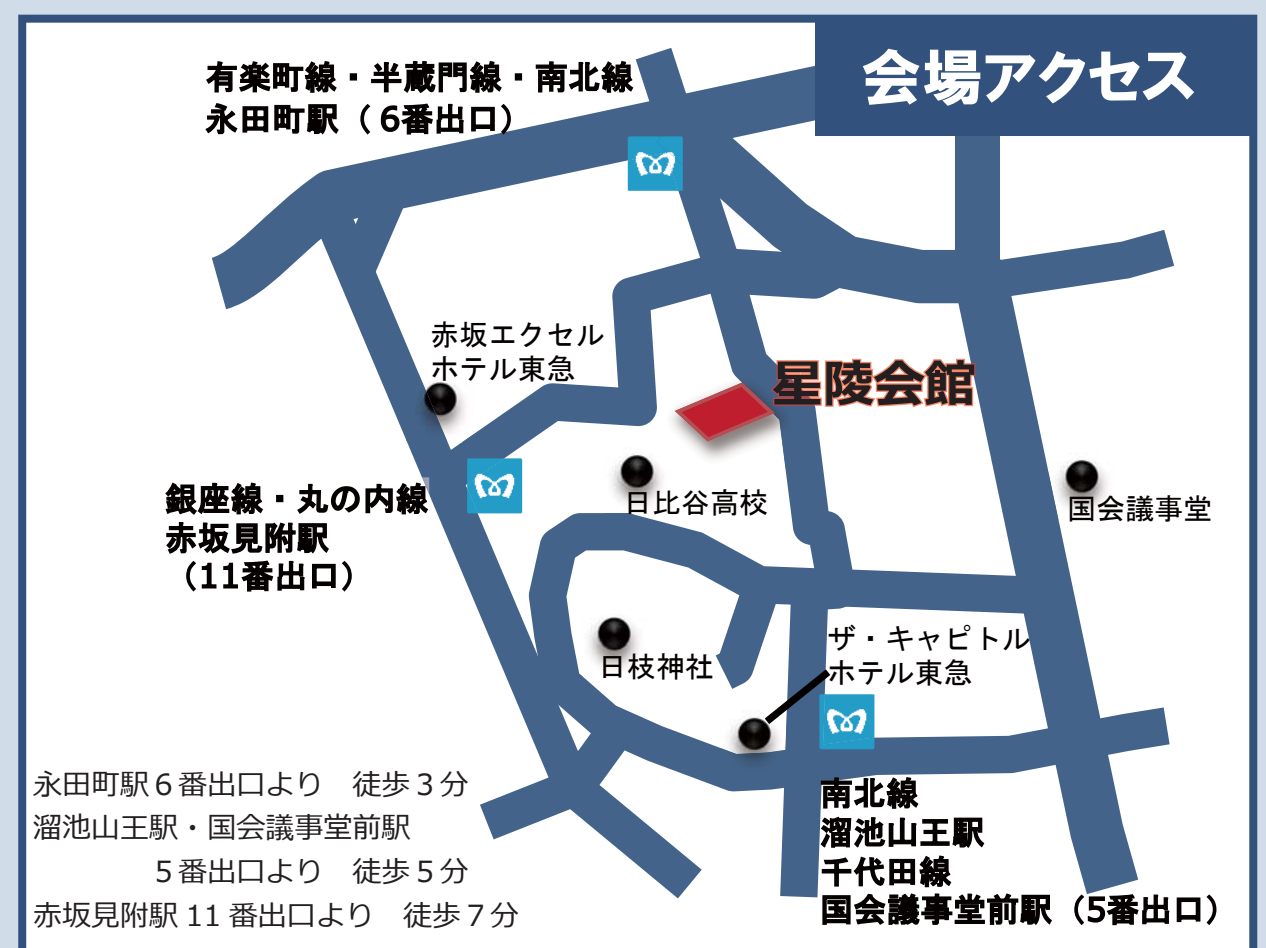
星野 裕司



パネリスト 岡田 一天、吉村 伸一、星野 裕司、堂園 俊多
コーディネーター 萱場 祐一

16:55 閉会 (公社)全国土木コンクリートブロック協会会長 本間 丈士

各地で魅力あふれる水辺空間の形成が進み、人・まちと川とのつながりが深まりつつあります。良好な水辺空間の形成には、水面から河畔まで連続的に捉えるデザイン力に加えて、河岸や水際のデザインに影響する護岸ブロック等のコンクリート製品の質も重要になります。本シンポジウムでは、平成26年に改定された「美しい山河を守る災害復旧基本方針」において景観への配慮がより一層充実したことも踏まえ、これからの魅力ある水辺空間の形成を進める上で必要な空間デザイン手法、護岸ブロックに求められる機能や活用のあり方について議論したいと思います。



主催 国立研究開発法人土木研究所
水環境研究グループ自然共生研究センター

共催 公益社団法人全国土木コンクリートブロック協会

後援 国土交通省(予定)



申込み/お問合せ

申込みの場合は、参加者氏名・所属・連絡先(TEL及びE-mail)を記載の上、E-mail(またはFAX)にて送付下さい。

(公社)全国土木コンクリートブロック協会
TEL:03-5689-0491, FAX:03-5689-0492
E-mail: info@cba.or.jp